

総務委員会 年間事業計画

担当名	人財開発
委員会	グローバルリーダー育成委員会
委員長	上田 宗輝
副委員長	遠藤 功博
委員	卯田 貴大 下里 蔵重 星野 恵里
	・ 片岡 宗生 ・ 所 基晋

基本方針
国際化社会における西美濃地域の発展のために、グローバルな視点を持ち、世界を見据えて活躍できる人財を育む。

委員長方針

海外進出しなければ海外の方と接することが稀だった時代は過去のものであり、国際化という変化はこの西美濃地域にも確実に起きつつあります。そのような時代だからこそ、我々はどこに考え方の軸を置き、何を基準として行動するのかということが重要になります。そこで我々は、自分とそのルーツを知り、他人の考え方、文化そのものを認める多角的な視点を持ち、時代の変化に対応し、柔軟な判断ができるリーダーを育成する事業を展開していきます。

また、大垣青年会議所が地域社会から真に必要とされる団体となるためには、会員各々が必要とされる人財でなければなりません。新入会員も例外ではなく、真のリーダーとは何かを探究し続け、自身の理想像を追い求めていく必要があります。新入会員という大切な時期に青年会議所とは何をし、何ができるのかをしっかりと学び、情熱と探究心を持った人財となるよう指導していきます。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 3月度例会の企画・運営

目的 日本人としての誇りを持つと共に多種多様な視点を育むことで、地域で活躍できる人財となるための機会とする。

予定と方法 (1) 3月
(2) 種別・その他の事業

予算

	＜支出の部＞		＜収入の部＞
事業費	80,000	一般会計	80,000
合計	80,000	合計	80,000

2. 事業名 6月度例会の企画・運営

目的 日本の歴史や文化を理解し、グローバルな視点を育むことで、世界を見据えて活躍できる人財を創出する機会とする。

予定と方法 (1) 6月
(2) 種別・公益事業
(3) 最重点事業目的該当項目：豊かな個性と多様性ある成長に向けた取り組み

予算

	＜支出の部＞		＜収入の部＞
事業費	2,700,000	一般会計	1,400,000
		登録料収入	1,300,000
合計	2,700,000	合計	2,700,000

3. 事業名 7月度例会の企画・運営

目的 価値観の多様性を認めることで困難に対し柔軟な判断で立ち向かえる人財となるための機会とする。

予定と方法 (1) 7月
(2) 種別・その他の事業

予算

	＜支出の部＞		＜収入の部＞
事業費	450,000	一般会計	450,000
合計	450,000	合計	450,000

4. 事業名 新入会員の指導
- 目的 JAYCEEとして探究心を持ち、積極的に活動することで自ら成長の機会を創り出すことができるよう指導する。
- 予定と方法 (1) 1月～6月
(2) 新入会員研修の実施(4回)
(3) 理事会へのオブザーブ出席
(4) 3分間スピーチの実施
(5) 岐阜ブロックアカデミー2019への参加
(6) その他
- 予 算
- | <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費 | 100,000 | 一般会計 | 100,000 |
| 合計 | 100,000 | 合計 | 100,000 |
5. 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導
- 目的 1年間の成長の機会を通じて得た学びを活かし、新入会員が一丸となって交流会に取り組むことで、今後の大垣青年会議所活動に積極的に参画できる人財となるよう指導する。
- 予定と方法 (1) 6月～12月
(2) 議案作成及び議案上程セミナーの実施
(3) 模擬正副理事長会議、模擬常任理事会、模擬理事会の実施
(4) 事業の企画、準備、実施及び事業報告の指導
6. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

担当名 委員会 委員長 副委員長 委員	ー 拡大ネットワーク委員会 原 秀輔 伊藤 友輔 市川 佳典 筒浦 広幸 (柘植 千咲) (廣瀬 史貴)	・ 竹村 公作 ・ (川瀬 記一) ・ (長澤 愛樹) ・ (林 卓信)	基本方針 志高く活動できる仲間を募り、多種多様な価値観を持った会員同士が切磋琢磨することで、自己と組織の成長に繋げると共に、同志の団体と手を携え西美濃の更なる発展の礎とする。
---------------------------------	---	---	--

委員長方針

経済が潤い、また子供たちが未来に期待できる社会の実現を目指し、この地域の発展に寄与できる人財、志高く活動できる仲間を募ることが必要です。そのためには全会員が、会員数減少の課題と向き合い会員拡大活動を行うことが必要となってきます。多くの出会いを提供することで多種多様な価値観を持つ人との交流や成長の機会が増え、自己の成長が組織の成長へと繋がります。また西美濃にある同志の団体と手を携え受け継がれてきた伝統や形を守り継ぐことが連携協力となると共に、より大きな運動となり西美濃の発展に繋がります。

<事業計画及び予算>

- 事業名 5月度例会の企画・運営

目的 大垣青年会議所の魅力を理解し、多種多様な価値観を持った人に対してのアプローチを学び、自己成長の場とする。

予定と方法 (1) 5月
(2) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 8月度例会の企画・運営

目的 地域の魅力を発信する事業に同志の団体と協働することで、友情をより深める。

予定と方法 (1) 8月
(2) 第35回水門川万灯流しへの参加・協力
- 事業名 10月度例会の企画・運営

目的 伝統や形を守り継ぐ事業に同志の団体と共に取り組むことで、事業を盛り上げ西美濃の活性化に寄与する。

予定と方法 (1) 10月
(2) 第46回十万石ふるさとまつりへの参加・協力
- 事業名 正会員及び賛助会員の募集

目的 全会員で、地域の発展に貢献できる人財を募集する。

予定と方法 (1) 正会員の募集(1月～8月)
(2) 賛助会員の募集(1月～12月)
(3) 正会員及び賛助会員の募集の窓口
(4) 会員拡大戦略会議の実施(1月)
(5) 異業種交流会の開催(6月、7月)
(6) 候補者の事業オブザーブ参加(3月～8月)
(7) 各委員会広報資料への会員募集の掲載
(8) ホームページへの会員の募集の掲載
(9) チランの作成
(10) 正会員及び賛助会員の候補者の情報収集と集約(1月～12月)
(11) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	205,000	一般会計	205,000
合計	205,000	合計	205,000

5.	事業名	新入会員予定者及び賛助会員予定者の指導及び資格審査	
	目的	大垣青年会議所の理念と意義を伝え、地域の発展に貢献できる人財となれるよう指導を行い、適正を審査する。	
	予定と方法	(1) 8月～12月 (2) 新入会員予定者の資格審査(8月) (3) 新入会員予定者オリエンテーションの開催(8月) (4) 新入会員予定者研修プログラムの開催(10月) (5) 新入会員予定者の参加対象事業への参加推進及び指導(9月～12月) (6) 賛助会員予定者の指導(随時) (7) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の最終適正審査(12月) (8) 新年互礼会に向けた指導 (9) 種別・その他の事業	
	予 算	<支出の部>	<収入の部>
		事業費	一般会計
		80,000	80,000
		合計	合計
		80,000	80,000

6.	事業名	西美濃地域関係各諸団体との窓口及び協力
	目的	西美濃地域関係各諸団体の事業への参加を促し、西美濃地域関係各諸団体との窓口となる。

総務委員会 年間事業計画

<table border="1"> <tr> <td style="width: 20%;">担当名</td> <td>地域創造</td> </tr> <tr> <td>委員会</td> <td>地域みらい創造委員会</td> </tr> <tr> <td>委員長</td> <td>野田 正興</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>西本 匡良</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>川合 卓哉 栗田 紀久 (門田 寛之) (高橋 正泰) (富田 真吉)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 川瀬 英三朗 ・ 島村 智大 ・ (北村 光) ・ (田中 一輝) ・ (森 大地)</td> </tr> </table>	担当名	地域創造	委員会	地域みらい創造委員会	委員長	野田 正興	副委員長	西本 匡良	委員	川合 卓哉 栗田 紀久 (門田 寛之) (高橋 正泰) (富田 真吉)		・ 川瀬 英三朗 ・ 島村 智大 ・ (北村 光) ・ (田中 一輝) ・ (森 大地)	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基本方針</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 笑顔溢れるまちを創造するために、住民が主役のまちづくりを目指し、新たな指針の策定を推進することにより、産学官民との連携を強固にする。 </td> </tr> </table>	基本方針	笑顔溢れるまちを創造するために、住民が主役のまちづくりを目指し、新たな指針の策定を推進することにより、産学官民との連携を強固にする。
担当名	地域創造														
委員会	地域みらい創造委員会														
委員長	野田 正興														
副委員長	西本 匡良														
委員	川合 卓哉 栗田 紀久 (門田 寛之) (高橋 正泰) (富田 真吉)														
	・ 川瀬 英三朗 ・ 島村 智大 ・ (北村 光) ・ (田中 一輝) ・ (森 大地)														
基本方針															
笑顔溢れるまちを創造するために、住民が主役のまちづくりを目指し、新たな指針の策定を推進することにより、産学官民との連携を強固にする。															

委員長方針

大垣青年会議所が掲げた2010年代運動指針、最重点事業指針終着の年となるため、住民が主役のまちづくりを目指して新たな指針の策定を推進し、笑顔溢れるまちを創造します。住民が主体となる事業を産学官民と連携を取りながら展開し、大垣青年会議所が西美濃地域のコミュニティネットワークの中心となることができれば、強いコミュニティネットワークが構築され、西美濃の素晴らしい価値や子供たちの成長を育む豊かなまちづくりができると確信します。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 4月度例会の企画・運営
 目的 西美濃地域の素晴らしい価値を発掘し、笑顔溢れるまちを創造する。
 予定と方法 (1) 4月
(2) 種別: 公益事業
(3) 最重点事業目的該当項目: 西美濃の歴史・財産を知り、誇りと郷土愛の育成に向けた取り組み
 予算

	<支出の部>		<収入の部>
事業費	800,000	一般会計	800,000
合計	800,000	合計	800,000

2. 事業名 11月度例会の企画・運営
 目的 西美濃の魅力を発信することで、産学官民の枠組みを越えたコミュニティネットワークを構築する。
 予定と方法 (1) 11月
(2) 種別: 公益事業
(3) 最重点事業目的該当項目: 豊かな個性と多様性ある成長に向けた取り組み
 予算

	<支出の部>		<収入の部>
事業費	1,000,000	一般会計	1,000,000
合計	1,000,000	合計	1,000,000

3. 事業名 2020年以降の運動指針、最重点事業制度の推進
 目的 最重点事業の報告書を基に、新たな指針の策定を推進する。
 予定と方法 (1) 2020年以降の運動指針、最重点事業制度の推進(3月～12月)
(2) 全体会議の開催(3月、6月)
(3) その他

4. 事業名 各委員会との連携
 予定と方法 (1) その他

総務委員会 年間事業計画

担当名 委員会 委員長 副委員長 委員	地域創造 西美濃情報発信委員会 藤原 新也 恒本 浩志 太田 佳祐 清水 崇 春山 大樹 (久保田 吉則)	基本方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栗田 裕介 ・ 中村 紘平 ・ (飼沼 優作) ・ (新川 聖平) 	事業の本質を追求し、西美濃地域の魅力の具現化を推進することで、真の西美濃連携の実現に寄与する。

委員長方針

地域活性化事業として地域に根付き始めているツール・ド・西美濃は、地域の魅力発信において幾重にも改良を行い成熟してまいりました。しかし、近年の事業開催状況、参加者状況から事業本来の在り方を考え、住民主体の更なる発展した事業となる必要があります。本来、住民主体のまちづくりを目指す事業ではありませんが、行政と関係企業、そして、大垣青年会議所が主体となっているのが現実です。今こそ、事業の本質を振り返り、より多くの住民に愛されるツール・ド・西美濃へと飛躍することで、住民自らが地域の魅力を発信することができる地域ブランドを推進し、真の西美濃連携の実現から活気ある住民主体のまちづくりに繋げます。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 9月度例会の企画・運営

目的 より多くの方に魅力を知って頂くことで、更に多くの皆様に愛される事業となり、西美濃ブランド確立への一助とする。

予定と方法 (1) 9月
(2) ツール・ド・西美濃2019事前説明会
(3) ツール・ド・西美濃2019への参加・協力
(4) 種別・その他の事業

	<支出の部>		<収入の部>
予 算	事業費	10,000	一般会計
	合計	10,000	合計
		10,000	10,000
2. 事業名 西美濃の多彩な情報発信による地域活性化に向けた事業

目的 住民自らが地域の魅力を発信する機会を創出し、地域愛の具現化を推進することで地域ブランドを構築し、西美濃ブランド確立への一助とする。

予定と方法 (1) ツール・ド・西美濃実行委員会との連携
(2) ツール・ド・西美濃実行委員会及び本部会への参画
(3) ツール・ド・西美濃2019開催準備への参加・協力
(4) 種別・その他の事業
3. 事業名 真の民主主義社会の推進に関する事業

目的 地域住民が各々の意思を発信できる機会を知ることで、住民主体のまちづくりの推進の一助とする。

予定と方法 (1) 岐阜ブロック協議会との連携
(2) 種別・その他の事業
4. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

総務委員会 年間事業計画

担当名	会務運営
委員会	渉外委員会
委員長	岡田 源司
副委員長	杉江 拓弥
委員	澤頭 典男
	長野 匠吾
	(井尾 泰隆)
	(森 俊彰)

基本方針
事業の本質を深く理解し、対内外へ情報を発信することで、参加意欲を高め、個と組織の更なる成長へと繋げる。

委員長方針

現代社会では情報メディアが発達し、個人で気軽に情報の発信や収集ができる時代です。大垣青年会議所の対外的な窓口として、的確に情報を収集し、出向者と連携を図り事業の魅力、本質をメンバーに発信する必要があります。参加意欲を高め、インターネット上ではなく、実体験に基づく新たな気づきや学びを得る機会を提供することに努めます。そして、対外に大垣青年会議所の魅力ある事業を発信し、共感を持って事業に参加して頂き、明るい豊かな社会への実現に向けた運動を地域に伝えます。また、西美濃地域の未来を担う人財が、JC青年の船「とうかい号」事業を通じて、地域や企業に必要とされる人財になるよう支援します。

本年度、大垣青年会議所は68年目を迎え、社団法人花蓮国際青年商會と姉妹締結50周年の節目の年となります。先輩諸兄から連綿と繋がれた歴史を振り返り、今を生きていく人と共に学び友情を深め、新たな活力とする機会を創り、次代へと繋げます。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 大垣青年会議所の創始の精神を共有し、青年会議所活動の新たな気づきや学びを得る機会とする。

予定と方法 (1) 2月
(2) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	75,000	一般会計	75,000
合計	75,000	合計	75,000

2. 事業名 西美濃の未来を担う青年の海外派遣

目的 「とうかい号」を通して未来の西美濃の礎を築く青年が、企業や地域に必要とされる次代の人財になるように支援する。

予定と方法 (1) 1月～6月
(2) 第46回JC青年の船「とうかい号」事業の窓口
(3) 乗船者の募集
(4) 乗船者の適性審査
(5) LOMオリエンテーションの開催
(6) 岐阜ブロック交流会
(7) 結団式への参加
(8) LOM壮行会の開催
(9) 第46回JC青年の船「とうかい号」への派遣
(10) 出航式、帰港式の参加及び案内
(11) LOM帰国報告会の開催
(12) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000

3. 事業名 広報管理に関する事業

目的 大垣青年会議所の正しい情報や事業の魅力を発信する。

予定と方法 (1) ホームページの管理と運営
(2) Web媒体を利用した情報の発信
(3) 機関紙の発行
(4) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	400,000	一般会計	400,000
合計	400,000	合計	400,000

4. 事業名 社団法人花蓮国際青年商會との交流に関する事業
- 目的 社団法人花蓮国際青年商會との交流により、会員相互の理解と友情を深め次代へと繋げる。
- 予定と方法 (1) 社団法人花蓮国際青年商會の交流の窓口
(2) 社団法人花蓮国際青年商會との姉妹締結50周年事業の開催
(3) 種別・その他の事業
- 予算
- | <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費 | 350,000 | 一般会計 | 350,000 |
| 合計 | 350,000 | 合計 | 350,000 |
5. 事業名 JCI、日本JC及び対外事業の窓口及び参加推進
- 目的 対外事業の窓口として出向者との連携支援を行い、会員に目的・趣旨を伝えて参加促進をする。
- 予定と方法 (1) 日本JC 京都会議(1月) 京都
(2) 岐阜BC 岐阜会議(2月) 岐阜
(3) 日本JC 金沢会議(2月) 金沢
(4) JCI ASPAC (6月) 済州
(5) 日本JC サマーコンファレンス(7月) 横浜
(6) 東海DC 東海フォーラム(7月) 静岡
(7) 岐阜BC 岐阜ブロック大会(8月) 郡上
6. 事業名 趣味の会の窓口
- 目的 趣味の会への入会を促進し、会員同士の友情を深める。
- 予定と方法 (1) 趣味の会の募集・登録窓口
7. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

総務委員会 年間事業計画

担当名 委員会 委員長 副委員長 委員	会務運営 総務委員会 伊藤 裕一朗 高山 悠一 伊藤 聡 平野 敬司 水谷 孔輔 (大橋 崇史) (馬淵 剛)	・ 高田 晃裕 ・ 中村 慎治 ・ 毛利 茂晴 ・ (林田 丈祐)	基本方針 会員一人ひとりがJAYCEEであることに自覚と責任を持ってJC活動に邁進できるよう、正確かつ円滑な組織運営を行う。
---------------------------------	---	--	---

委員長方針

大垣青年会議所が明るい豊かな社会の実現に向け67年間歩み続けることができたのは、先輩諸兄の熱き想いと正確かつ円滑な組織運営があったからであると考えます。明るい豊かな社会の実現のため西美濃地域や地域住民を巻き込み青年会議所運動を展開するには、会員が自覚と責任を持ってJC活動に邁進する必要があります。そして、JC活動を通して先輩諸兄から受け継がれる大垣青年会議所の良さを学び自己成長することで、より強固な組織力を持った団体へと成長することができるのです。

厳格な組織の規律のもと、会員一人ひとりがJAYCEEであることに自覚と責任を持ってJC活動に邁進できるよう、正確かつ円滑な組織運営を行ってまいります。

<事業計画及び予算>

- 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 2019年度の決意と方針を力強く発信し、JC活動への意欲を高めると共に、西美濃連携の一助となる場とする。

予定と方法 (1) 1月
(2) 新年互礼会
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費		一般会計	
165,000		165,000	
合計	165,000	合計	165,000
- 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 卒業生への感謝と労いの気持ちを持って祝福すると共に、卒業生の想いを受け継ぐことで、2020年代へと進んでいく機運を高める場とする。

予定と方法 (1) 12月
(2) 卒業生を送る会
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費		一般会計	
100,000		100,000	
合計	100,000	合計	100,000
- 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業

目的 2019年度の大垣青年会議所の情報を正確に資料としてまとめることにより、円滑な活動の一助とする。

予定と方法 (1) 基本資料の作成・会員名簿の作成
(2) 定款及び運営規則の管理
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費		一般会計	
480,000		480,000	
合計	480,000	合計	480,000
- 事業名 情報管理のための事業

目的 活動記録を管理することで、大垣青年会議所の歩みを次世代へ繋げる。

予定と方法 (1) 各事業記録の整理・保管
(2) 各事業写真の保管
(3) 議案書の保管
(4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
(5) 種別・その他の事業

5. 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営
目的 総会の意義を理解し、適切な運営を行う。
予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営
(2) 議事録の作成
6. 事業名 理事会運営に関する事業
目的 各委員会との連絡を密に行い、正確かつ円滑な理事会の運営を行うことで、会員の成長の一助とする。
予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営
(2) 議事録の作成
(3) 理事会資料の配信及び厳格な資料の確認
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知
7. 事業名 大垣青年会議所の運営全般に関する事業
目的 会員がJC活動に邁進し、自己成長に繋がられるよう正確かつ円滑な組織運営を行う。